

令和7年2月吉日

令和7年度健康診断ご利用者  
ご利用事業所・健康保険組合 各位

富山赤十字病院  
院長 平岩 善雄  
健診部長 仙田 聡子

令和7年4月以降の健康診断料金の変更及び  
二日ドックコース内容変更について（お知らせ）

拝啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より当健診センターをご利用いただきましてありがとうございます。

さて、令和7年4月より当院健康診断のすべてのコースについて採尿キットの導入及び郵便料金の値上げを受け料金変更を行うことになりましたのでお知らせいたします。また、二日ドックコースの検査内容について、日本人間ドック・予防医療学会からの指針を受け検査内容の追加及びそれに伴う料金変更を行うことになりました。詳細につきましては別添を参照くださいますようお願い申し上げます。

ご不明点等ございましたら下記までご連絡ください。

今後とも当健診センターをご利用いただきますようお願いいたします。

敬具

（連絡先）

富山赤十字病院 健診センター

お問合せ時間 9:00～16:30

TEL 076-433-2668

FAX 076-433-2673

# 令和7年度健康診断の料金改定等について

- 1 令和7年度健康診断の料金改定について  
以下のとおり料金改定をいたします。

当院コース名称	現在の金額（税込）		改定後金額（税込）
労働安全衛生規則	14,300 円	→	14,520 円
生活習慣病予防健診	24,420 円	→	24,750 円
一日ドック	42,350 円	→	42,680 円
一日脳ドック	77,000 円	→	77,330 円
脳ドックオリジナル	44,000 円	→	44,330 円
二日ドック	68,860 円	→	76,120 円
二日脳ドック	105,050 円	→	111,320 円

- 2 検査内容の追加削除について  
以下のとおり検査内容の追加・削除をいたします。

コース名称	追加項目	説明	削除項目
二日ドック 二日脳ドック	体脂肪率	体組成計（InBody） で測定します。	
	筋肉量		
	25（OH）ビタミンD	血液検査で体内のビ タミンD充足状態の評 価をします。ビタミン Dは骨の形成や免疫 機能に関係していま す。	
	あたまの健康チェック	対面で行う、約10分 間の認知機能検査で す。	
	ロコモ健診	移動機能を評価する 運動器健診です。	
	サルコペニアチェック	筋力、身体機能、骨 格筋量を評価する運 動器健診です。	
二日脳ドック			頭部XP
脳ドックオリジナル	あたまの健康チェック	対面で行う、約10分 間の認知機能検査で す。	頭部XP

# ウェルビーイングドック のご案内

富山県内  
初

超高齢化社会を  
よりよく健康に過ごすこと  
(ウェルビーイング) を目指して  
バージョンアップした2日人間ドック

ウェルビーイングwell-being：  
健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、  
肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態  
(well-being)にあること 【世界保健機構(WHO)憲章前文】

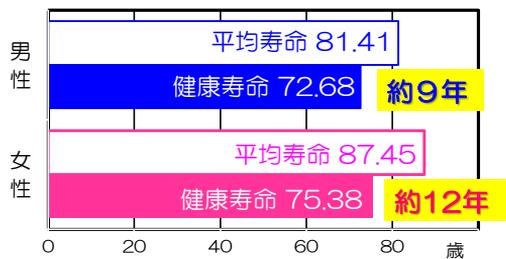
ウェルビーイングドックは  
日本人間ドック・予防医療学会が提案する

**健康寿命延伸に資する人間ドック**

生活習慣病・がんなどの早期発見・治療  
に加えて

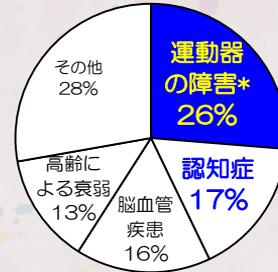
加齢に伴う健康問題 (運動器障害、認知症)  
の予防にもつながる 人間ドックです

## 要支援・要介護の時期は約10年 (平均寿命と健康寿命の差)



平均寿命：厚生労働省2019年 国民生活基礎調査  
健康寿命：厚生労働省2019年 簡易生命表を基に作成

## 要支援・要介護になった原因



厚生労働省2022年国民生活基礎調査の概況より改変  
\*運動器の障害：骨折転倒・関節疾患・背髄損傷の合計

- ・健康寿命をのばすための健康管理・予防
- ・高齢になっても社会活動できるための  
壮年期からの健康管理・予防

→運動器、認知機能への対策が必要

## ウェルビーイングドック (日赤とやま)

### 健康寿命延伸に資する2日人間ドック

◎生活習慣病・がん：従来の2日ドック

◎運動器

新規導入

- ロコモ健診：移動機能
- サルコペニアチェック：筋力、身体機能、骨格筋量
- ビタミンD：骨・免疫

オプション：骨密度・歯科口腔ドック

◎認知機能

新規導入

- あたまの健康チェック：認知機能  
(健常域～MCI軽度認知機能低下)

◎脳心血管疾患

オプション：脳ドック・動脈硬化ドック・心臓ストレス検診

新規導入①

## ロコモ健診

ロコモとは、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）のことで、足腰や骨などの運動器障害のため、移動能力が低下した状態です。進行すると日常生活に支障をきたし、介護が必要な状態になるリスクが高くなります。

### ロコモ度テスト

- ▶ 立ち上がりテスト（下肢筋力を調べる）
- ▶ 2ステップテスト（歩幅を調べる）
- ▶ ロコモ25（身体の状態・生活状況を調べる）

新規導入②

## サルコペニアチェック

サルコペニアとは、「加齢に伴う過度な筋肉量の減少」と定義され、進行すると筋力低下、身体機能低下をきたし、生活の質の低下、死などの転帰を伴う老年症候群です。

- ▶ 筋力測定：握力（握力年齢）
- ▶ 身体機能：6m歩行
- ▶ 骨格筋量：骨格筋指数SMI  
（InBody体組成計による測定）



新規導入③

## ビタミンD

25OH(ヒドロキシ)ビタミンD

ビタミンDは、骨やカルシウムの調整をしています。  
 ビタミンD不足は、腸からのカルシウム吸収が低下し、骨を溶かしてカルシウムを維持しようとするため、骨がもろくなり**骨粗鬆症の原因**となります。  
 ビタミンD作用低下は**筋力を低下**させ、さらに転倒リスクがあがります。  
 他にも、**免疫調節**や**感染防御**の働きがあります。

特定の病気しか保険診療での検査が認められない、通常では測れない採血検査です。

新規導入④

## あたまの健康チェック

健常域～軽度認知機能障害(MCI)の、認知症ではない段階における認知機能チェックです。  
**認知症かどうかの検査ではありません。**  
 認知機能指数で表示され、健常域での経時的変化をみることが出来ます。生活習慣の取り組みによる効果も確認できます。

